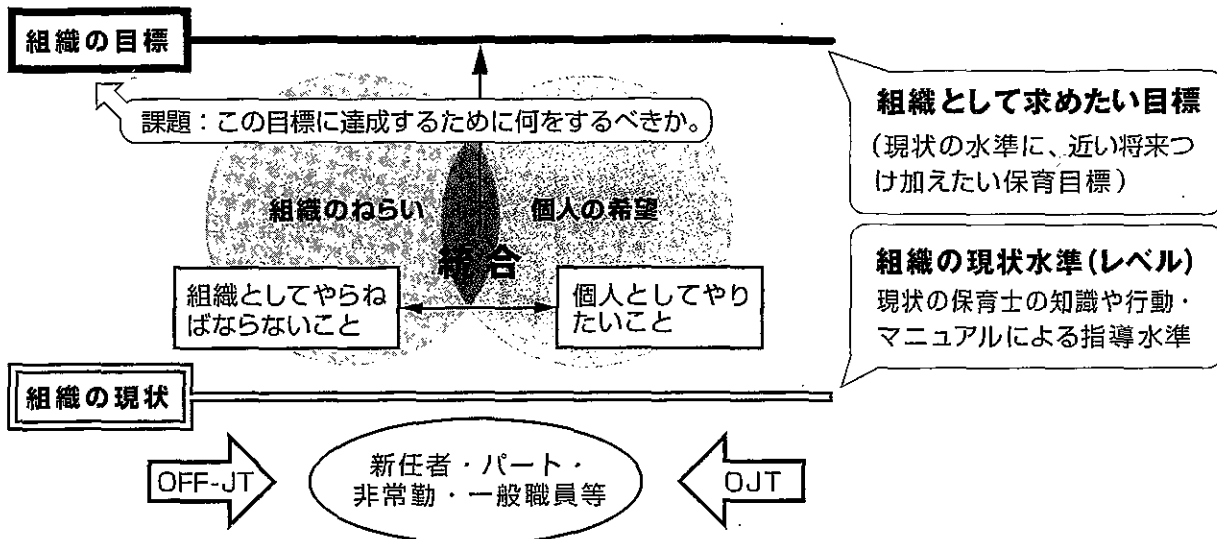


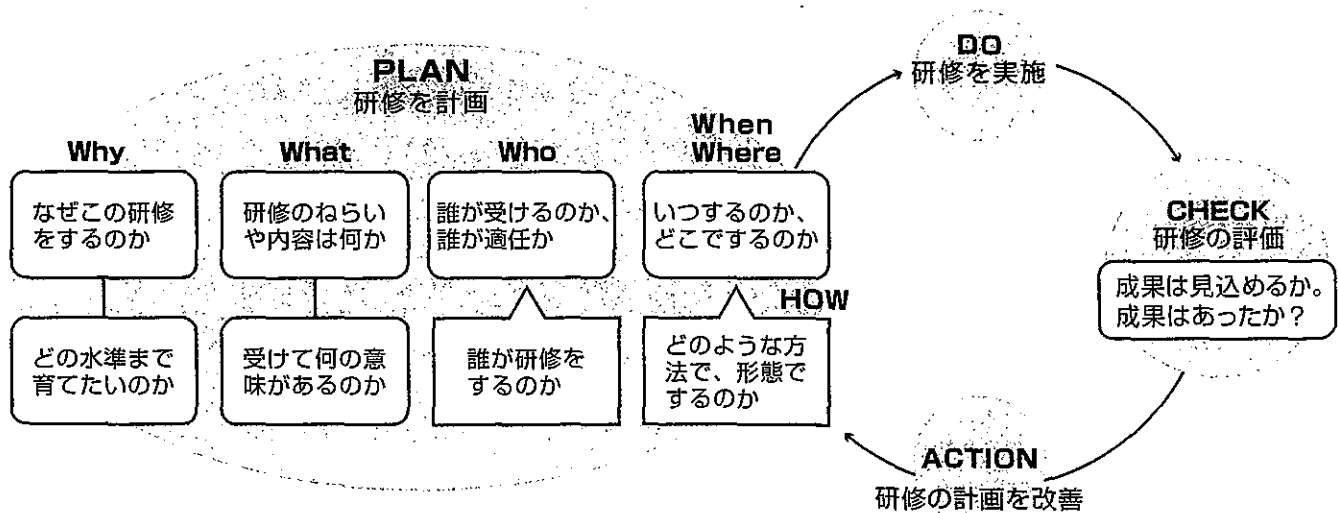
組織の教育と研修の基本姿勢



「組織としてやるべきこと」と「職員のやりたいこと」との調整は、本来は園長から強いられるものではなく、職員がその必要性を自らの意志と意欲で、その二つを統合していくことが理想でしょう。そのためにも、園長は組織の現状

と課題を提示して共同歩調をとらせる工夫がいるでしょう。「してほしいこと」だけを求める姿勢では、本人のやる気と意欲を維持していくことは難しいものです。

研修を受けることが目的化しないように<PDCAと5W1H>



実習生受入れについての意義とマニュアル例

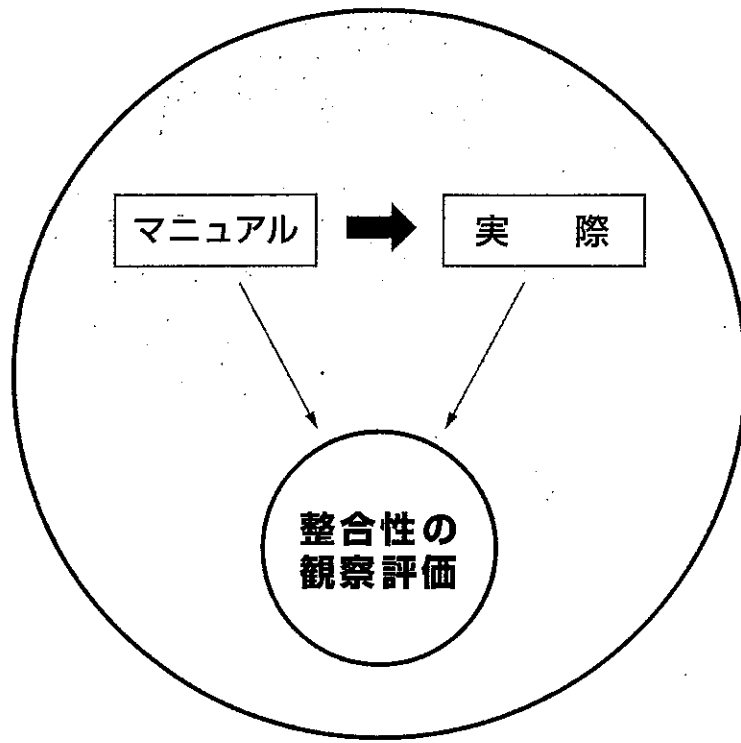
第1段階 (礼儀などの躰・行動の習慣作り)

- 1・声が出るように
- 2・表情や、笑顔がでるように
- 3・立ったときの姿勢が評価できるように
- 4・整理整頓ができるように
- 5・履き物をそろえる、椅子を入れることができるように
- 6・返事、挨拶、感謝、祝福、謝罪が言えるように
- 7・受身でなく能動的な言動になるように

第2段階 (思考力・理解力・表現力)

- 1・漢字が読める
- 2・足し算、割り算等、小学校の3年、4年の基礎作り
- 3・言語明瞭、5W1Hでの説明ができるように
- 4・メモをとっての確認、聞いたことを復唱する
- 5・声を出して本や、書面を読む
- 6・感想文、報告書、作文を書く

社会福祉法人顕真会マニュアルから資料抜粋



保育所の質の社会的評価

